

# YA 通信

令和 5 年号

令和 5 年 7 月 1 日発行

富士宮市立中央図書館 YA コーナー

〒418-0067 静岡県富士宮市宮町 13-1 電話:0544(26)5062

図書館ホームページ <http://www.fujinomialib.jp/>

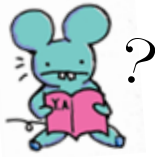
上の二次元コードからもアクセスできます。



そもそも

ワイエー

## YA って何だ？



ついでに

## 図書館のこと、どれだけ知ってる？



「なんか、タダで本を貸してるところでしょ？」

半分正解です。これは善意のサービスというわけではなく、「図書館法」という法律で、「公立図書館は、資料の利用に対して対価を徴収してはならない」と決められているのです。本や CD（図書館では CD も借りられるんですよ）、いくら借りても無料。便利ですよー。

「でも、図書館はなんのためにそんなことをしてるの？」

「タダで本を貸す」は、図書館の本質ではありません。皆さんの知る権利、学びの自由を守り、調査・研究・レクリエーションのために資料を提供する…それこそが図書館の使命なのです！例えば、自由に使えるお金が少ない学生さんにも、様々な本を読むことでどんどん視野を広げてほしい…というのが、無料で本を貸す狙いの一つというわけです。

「確かに、試験勉強とか課題をやるのに学習室が使えるから便利だよな。」

その使い方は、あまりにももったいない！図書館に置かれた様々な資料は、学校の授業や学生生活ではなかなか触れられない、知らない世界への入り口に溢れています。その中から、あなただけの「好きなこと」が見つかるかもしれない…それこそが図書館の醍醐味の一つです。次のページからは、図書館の資料が織りなすディープな世界のほんの一部をご案内しましょう！

（ちなみに…学習室以外の図書館内の座席はあくまで「資料の閲覧席」なので、図書館の資料を使う人の利用が最優先です。図書館の資料を使わずに勉強をするなら、学習室でお願いしますね。）

スキルを磨く、あなただけの「好き」を見つける、  
世界がちょっとだけ違って見える！

## 図書館の資料が



# 皆さんをサポートします！

### 「と言われてもよくわからないんだけど、読書にそんなメリットがあるの？」



はい、間違いなくあります！…ただ、効果を上げるにはちょっぴりコツが必要かもしれません。  
読書や学びのメリットやコツを教えてくださいの本をご紹介します。



#### 『未来のきみを変える読書術 -なぜ本を読むのか?-』

菅野一徳 / 著 筑摩書房

◆読書に即効性はないかもしれませんが、読めば読むほど、相互作用で新たな世界が見えてくるのです…。



#### 『なぜ学ぶのか』

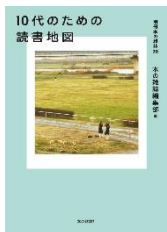
出口治明 / 著 小学館

◆「花には香り、本には毒を」というキャッチコピーが紹介されています。どうせなら、毒のある読書を楽しんでみませんか？

### 「とは言っても、何から読めばいいかわかんないんだけど…」



それなら、本を紹介する本「ブックガイド」がオススメ！小説・エッセイ・科学書から詩集まで、様々な分野に精通した本選びの名人たちが、皆さんにおすすめの本を紹介してくれています。



#### 『10代のための読書地図』

本の雑誌編集部 / 編 本の雑誌社

◆紹介されている冊数は圧巻！おすすめしてくれる人たちの熱量も圧倒的！きっと気になる本が1冊は見つかるはずです。



#### 『THE BOOKS green』

-365人の本屋さんが中高生に心から  
推す「この一冊」-

ミシマ社 / 編 ミシマ社

◆それぞれ異なる本屋で働く365人の書店員さんが本を紹介してくれます。

### 「世界がちょっとだけ違って見えるって、一体どういうことなの…？」



学校では習わないような、世の中の気になることについて自由に調べたり、物事の考え方について思わぬ本から思わぬ切り口をもらったり…図書館は新しい世界への入口にあふれています。



#### 『なんで洞窟に壁画を描いたの？ -美術のはじまりを探る旅-』

五十嵐ジャンヌ / 著 新泉社

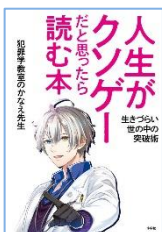
◆太古の昔、ビジュアルは最強の情報共有手段だったそうです。キレイに撮れた写真を世界中でシェアして楽しむ現代の感覚に繋がるかも…？



#### 『14歳からの資本主義 -君たちが大人になるころの未来を変えるために-』

丸山俊一 / 著 大和書房

◆このYA通信を書いている私は30代半ばですが、とても勉強になりました…。



#### 『人生がクソゲーだと思ったら読む本』

犯罪学教室のかなえ先生 / 著 小学館

◆クソゲーで運ゲーでバグだらけかもしれないけど、強く楽しく人生を乗り越えるためのヒントがたくさん詰まっています。



#### 『ひとりあそびの教科書』

宇野常寛 / 著 河出書房新社

◆「ぼっち」って少し寂しいイメージですかね？ただ一人の時間でも存分に楽しめた方が、人生の面白さが増すんじゃないでしょうか。

## 「好きなことで生きる」って素敵だけど、図書館にヒントがあるの？



その「好き」って、ホントにあなたが好きなこと？テレビやネットで、皆が言っていたからじゃなくて…？夢中になれることを見つけて仕事にした人たちの思いや経験は、きっと良いヒントになります。



『私の職場はサバンナです！』

太田ゆか/著 河出書房新社



『理系なお姉さんは苦手ですか？』

-理系な女性10人の理系人生カタログ-

内田麻理香/著 技術評論社

## 「良い感じに映える写真を撮るとか、そんなスキルは磨けるの？」



趣味を極めたいあなたのことも、図書館の資料がお手伝いします！

今回は写真撮影とイラスト作成、ビジュアルを通じた表現・創作の助けとなる2冊をご紹介します。



『個性あふれる“私らしい”  
写真を撮る方法』

野寺治孝/著 玄光社



『絵を描く人のためのお悩み相談室  
-プロ絵師に聞く!-』

ジェネット/著 インプレス

## 「授業やテストが大変だから、図書館を使ってるヒマなんか無いよ…」



授業の効果を上げたり、課題や試験勉強を効率的に進めるにも、図書館の資料は役立ちます！

今回はノートの取り方について書かれた本をご紹介します。



『中学生のおうちノート術』

-モチベも点数もめきめきアップ!-

みおりん/著 実務教育出版



『高校生の勉強ノートの作り方』

-かわいいノートでがんばる作戦!-

なかむらゆう/著 学研プラス

☆「中学生」「高校生」とタイトルにはありますが、中学生が高校生向けを読んでも、その逆でも問題無いと思いますよ！

### 番外編

## 「マジで本当に本とか読みたくないんで、図書館に用は無いです。」

1 ページ目にも書いたように、図書館には CD もあります。J ポップだけでなく、ジャズ・クラシック・メタル・プログレ・パンクにゲームのBGM まで…。音楽を楽しむために図書館を使っただけではいかがでしょう？



今回はいろいろな音楽を楽しむためのミュージックガイドブックをご紹介します！どんな CD があるのかは図書館の Web サイトで検索したり、実際に視聴覚コーナーにいらしてくださいね。…「結局本を読ませるのかよ」ですって!?



『ロックン・ロール  
ディスク・ガイド\*』

シンコーミュージック・

エンタテインメント



『名曲の裏側 -クラシック  
音楽家のヤバすぎる人生-』

渋谷ゆう子/著 ポプラ社



『ゲーム音楽史\*』-スーパー

マリオとドラクエを始点とする

ゲーム・ミュージックの歴史-』

岩崎祐之助/著 リットーミュージック

※印が付いている本は、YA コーナーにはありません。一般書(大人の本)フロアで探してみてくださいね。



児童文学作品の中には、数十年、あるいは百年以上に渡り世界中で読み継がれている「ド定番」があります。なぜ、これほどの長い時間、こんなにも多くの人に親しまれているのでしょうか？それはきっと、時空を超えて多くの人々の心に響く、<sup>ふへんてき</sup>普遍的な魅力を秘めているからではないかと思います。子ども向けだからと決して <sup>あなど</sup>侮れない、そんな魅力に溢れる作品群をご紹介します。



### 『星の王子さま』

サン・テグジュペリ/著 内藤濯/訳  
岩波書店

☆砂漠に不時着した飛行士は、とある小さな星からやってきたという王子と出会う。王子が語る、遠くの星の不思議な話。飛行機の修理に必死の飛行士も、いつしか心を動かされ…。正直ド定番過ぎてここに載せるべきか迷いましたが、やっぱりたくさんの人に読んでほしいので、やっぱり載せることにしました。

※この本の他にも、『ちいさな王子』など様々なタイトルで、また様々な翻訳や挿絵で、同じ小説が出版されています。



### 『トムは真夜中の庭で』

フィリパ・ピアス/著 高杉一郎/訳  
岩波書店

☆退屈な夏休みを過ごすトムは、こっそり抜け出した真夜中の庭で一人の少女と出会う。すぐに仲良くなる二人。しかし奇妙なことに、出会う度に少女の <sup>としがっこう</sup>年恰好が <sup>びみょう</sup>微妙に違っているのだ…。タイムトラベルものとしては単純なギミックなのですが、それでも引き込まれてしまうのはやはりお話自体が面白いからなのでしょう…？



### 『飛ぶ教室』

ケストナー/著 丘沢静也/訳  
光文社

☆もうすぐクリスマス休暇。クリスマス祭で上演する演劇「飛ぶ教室」の準備に励む、寄宿学校の生徒たち。学校生活は楽しいことばかりじゃないし、平穩を乱すトラブルも起こるけど、皆それぞれに自分らしく成長していきます…。子どもたち同士の友情はもちろんですが、彼らを見守る大人たちとの信頼関係がとってもステキです。

※この本の他にも、様々な翻訳で同じ小説が出版されています。YAコーナーにあるのは、これとは違う翻訳のものです。



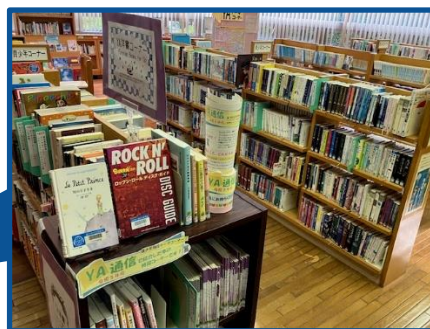
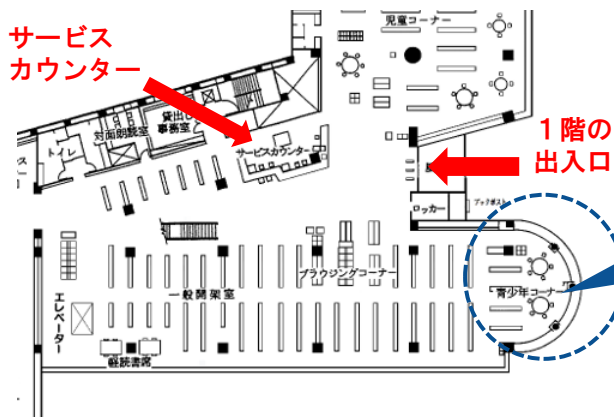
### 『アクロイド殺し(名探偵ポアロ)』

アガサ・クリスティー/著  
羽田詩津子/訳 早川書房

☆「…これ、児童文学なのか？」と迷いましたが、児童向けのものも出版されており、何よりミステリでは間違いなく定番とされる作品なのでご紹介。平和な村で起こった殺人事件。アクロイド氏を手にかけたのは、失踪した息子か、訳アリの使用人か、あるいは…？発表当時の読者たちに衝撃を与えたというラストまで、存分にお楽しみください。

※この本の他にも、『アクロイド殺害事件』など様々なタイトルや翻訳で同じ小説が出版されていますが、いずれもYAコーナーにはありません…。一般書や児童書のフロアで探してみてくださいね。

☆最後に…YAコーナーは、中央図書館1階の隅の方にあります。



この「YA通信」で紹介した本を集めた特設コーナーを、YAコーナー入口付近に期間限定で設置中！  
皆様のご利用をお待ちしています！

お問合せ：富士宮市立中央図書館 TEL:0544-26-5062